

外国人留学生アルバイト市場の 現状と今後について【2021年秋】



株式会社ノーザンライツ 編集



コロナ前と現在の比較



留学生のアルバイト状況



今後の見立てとまとめ

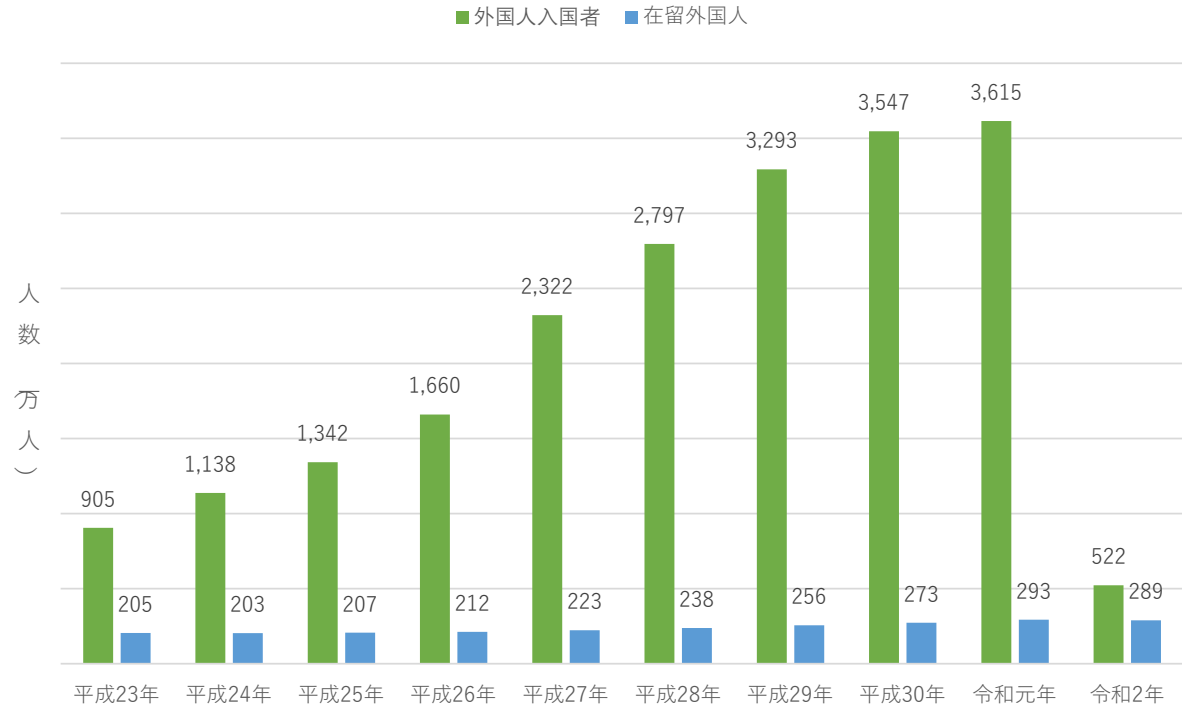
01

コロナ前と現在の比較

データでみる外国人とコロナの関係

コロナ前と現在の比較

外国人入国者と在留外国人の総数の推移



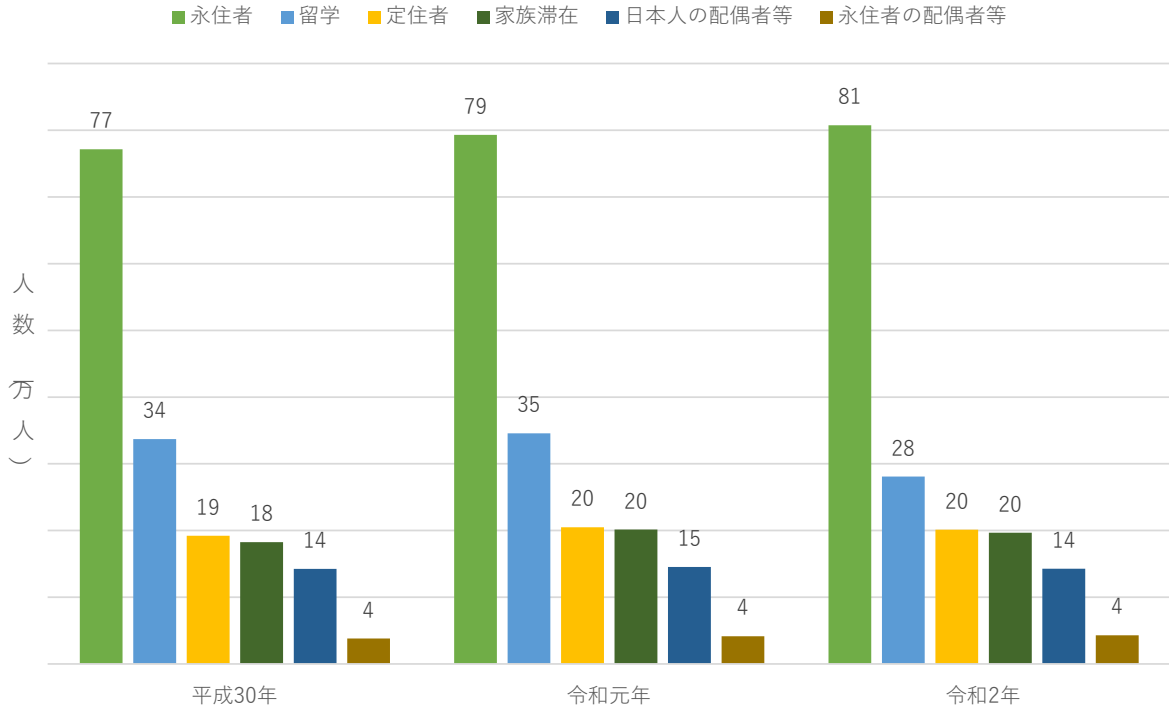
外国人入国者数

1年間で

約86%減

コロナ前と現在の比較

在留資格別採用ターゲット人材の推移



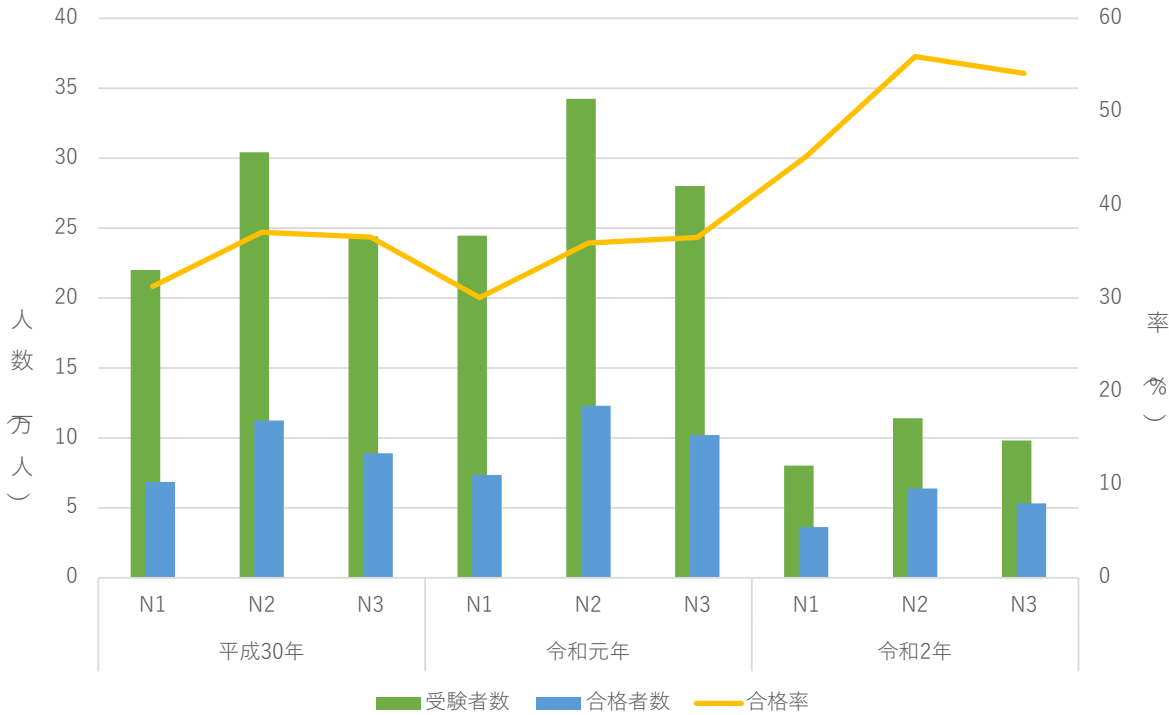
留学ビザ

1年間で

約20%減

コロナ前と現在の比較

JLPT（日本語能力試験）受験者数・合格者数の推移



受験者数

1年間で

約65%減

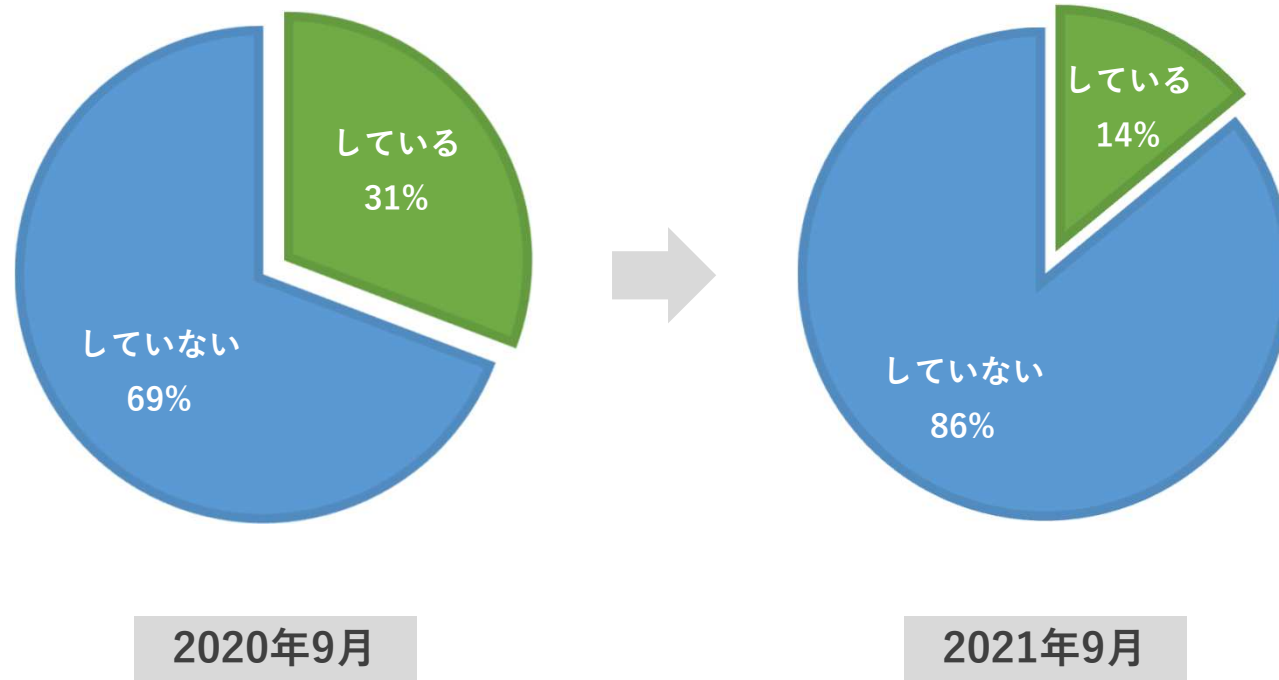
02

留学生のアルバイト状況

去年の同時期との比較

留学生のアルバイト状況

現在のアルバイト状況



アルバイト
していない人

1年間で

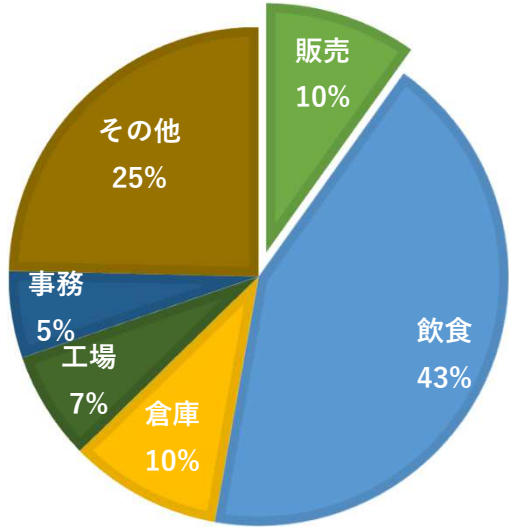
69%から



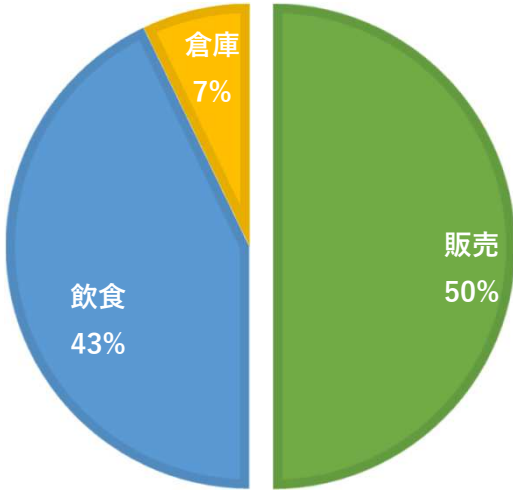
86%に増加

留学生のアルバイト状況

アルバイトをしている人の業種



2020年9月



2021年9月

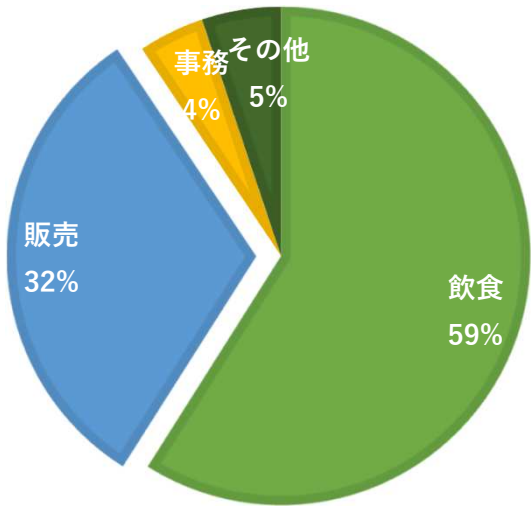
販売業に
従事している人

1年間で

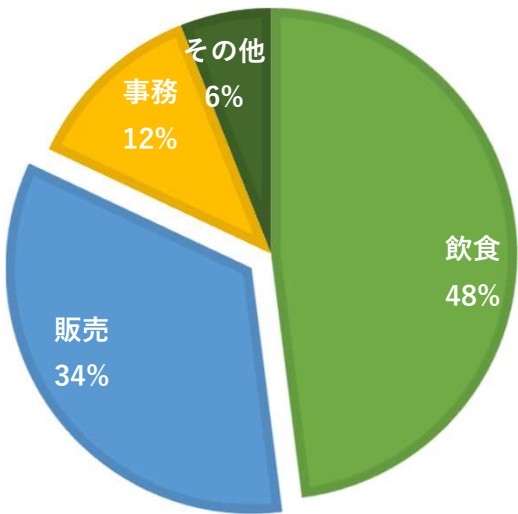
10% ⇒ 50%

留学生のアルバイト状況

今後希望するアルバイトの業種



2020年9月



2021年9月

今後飲食業に
従事を希望している人

1年間で

59%から



48%に減少

03

今後の市場予測とまとめ

早めの動き出しが必要

今後の市場予測とまとめ

日本人が対面の仕事を嫌がるようになる可能性

2021年6月に日本経済新聞でアメリカの求人数がワクチン接種増に伴い急回復したものの、ミスマッチが多く求人数をカバーできていないと記事になっていた。要因は接客など低賃金で感染リスクが高い職の求人が多い事などが挙げられている。

日本の採用市場でも同じことが起こる可能性が高い。

現にコロナ感染対策を具体的に記載している求人への応募率が高い。



●まとめ（飲食業の場合）

- ・ 今後、指定のワクチンを接種していないと、入国ができなくなるケースが想像されるため、現在既に入国している**留学生を早めに採用し、育成しておくべき**
- ・ 採用を再スタートする企業様は10月以降、一気に増えてくること各媒体社の予測でも出ており、一気に採用が難しくなる。東京ではこれを見越して、既にランチタイムの飲食店や清掃などで、**早めに留学生に切り替えている企業様が増加している**
- ・ どうしても飲食で働きたい人以外は、**感染リスクを気にして、応募を避ける可能性がある**
- ・ 留学生の8割は今でも対面の仕事や日本語を勉強できる飲食を希望
- ・ 飲食で働ける**N3レベル以上の人材の取り合いになる可能性がある**